

地球温暖化と

生態系

行田市立忍小学校
6年 高橋 愛未

地球温暖化とは？

環境問題の中でも深刻なのが地球温暖化です。
地球全体の平均温度が上がっていることをいいます。地球を温暖化が進むと、世界の環境や暮らしに影響が出て、さまざまな問題をはらひおこすといわれています。また、地球温暖化の主な原因は石炭や石油などの化石燃料を燃やしたときに出る二酸化炭素などの「温室効果ガス」(地球を温室のように温める効果のあるガス)が大気中にふえすぎたためです。

地球温暖化による生態系

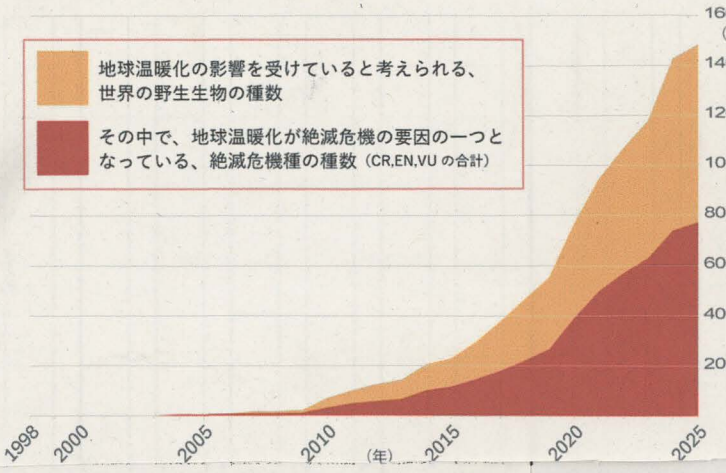
地球温暖化の影響は、海面の上昇、健康被害、異常気象の増加、農作物などへの影響があります。その中の一つは生態系への影響です。IUCN(国際自然保護連合)が発表している、世界の絶滅の恐れのある野生動物のリスト「レッドリスト」には、四万七千八百七十七種の野生動物が「絶滅の危機の高い種(絶滅危惧種)」として掲載されています。

海面の上昇
海水温が上がると海水が熱で膨張して海面の水位が
生態系への影響
現在絶滅の危機にさらされている生物は、ますます追いつめられ、さらに絶滅に近づく。
健康被害
マラリアなどにかかりやすくなる地域が広がる。
異常気象の増加
極端な高温や熱波、大雨などの異常気象がふえる。また、砂漠化が進んでいる地域はさらに乾燥する。
農作物などへの影響
気候の変化に加えて害虫の増加で穀物の生産が大被害を受ける。世界的に深刻な食糧不足をまねくおそれがある。

要因の一つに、気候変動による生態系への影響が挙げられます。気候変動は、野生動物を追いつめる大きな一因です。

変動。つまり地球温暖化を挙げている。二十年時点では十種あまり、二十五年時点では三百種近くに増加。二十五年の時点では七千六百九十五種にのぼります。この数字は、今後とも気候変動の深刻化に伴い、さらに増えるものと考えられます。

地球温暖化が、絶滅危機の要因の一つとなっている絶滅危機種の種数



野生生物への影響

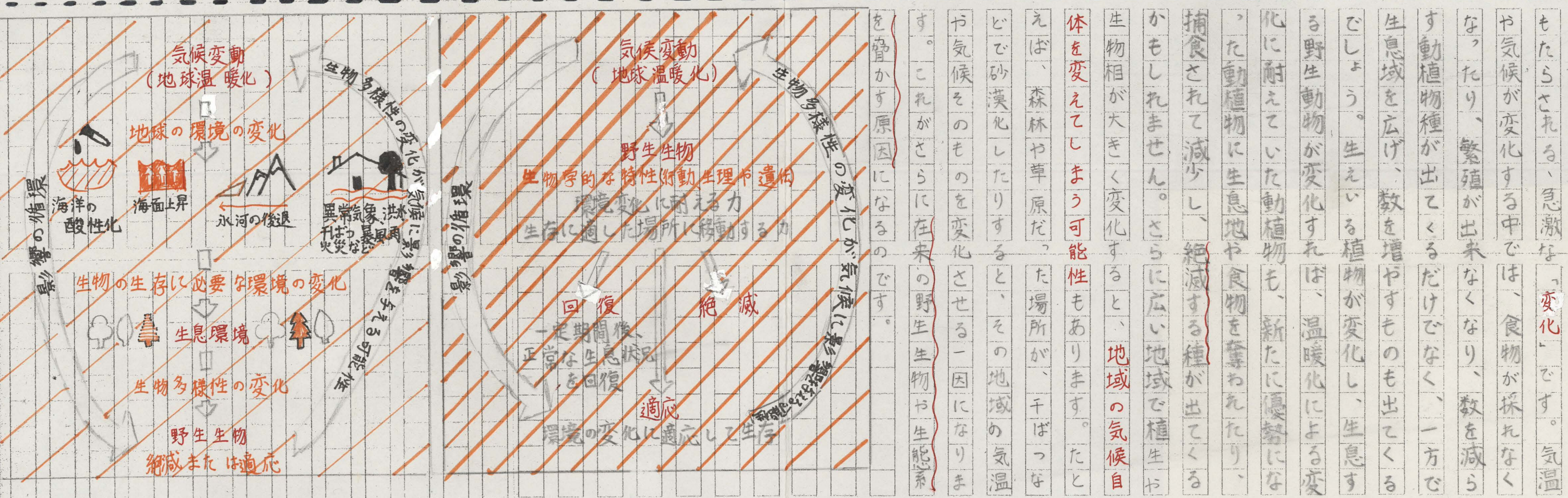
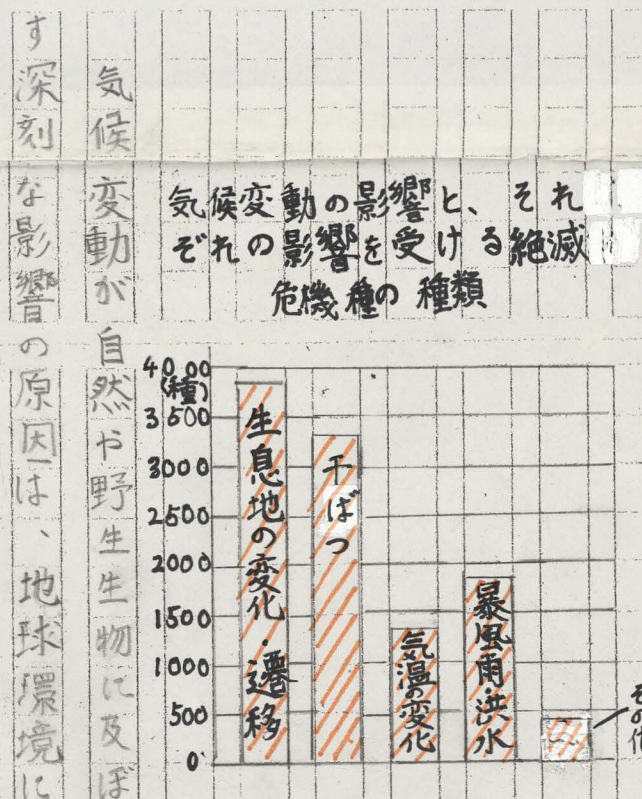
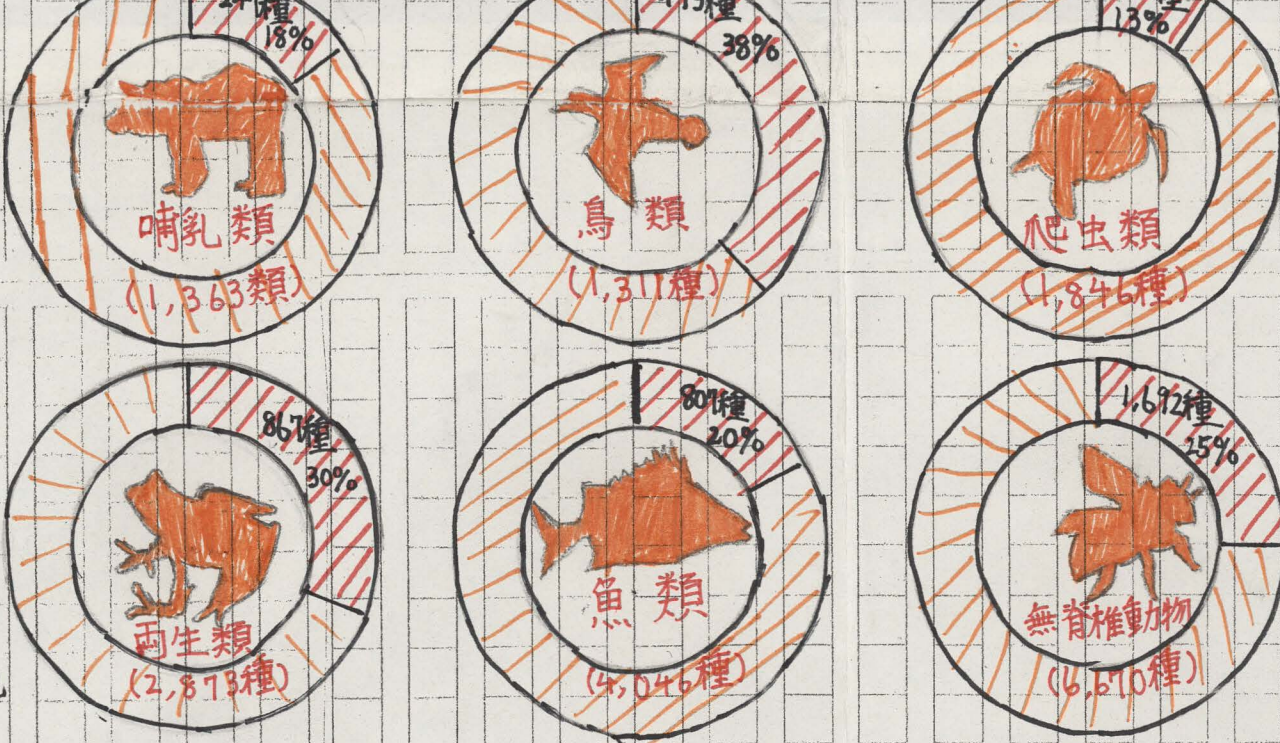
この気候変動がもたらしている野生動物の中には、密猟や生息環境の破壊といった他の危機にさらされているものが少なくありません。むしろ、温暖化のみによって絶滅しかけていくものも、数少ないといえるでしょう。実際、目に見えない温暖化による影響は、捉えがたく、科学でも証明するのが難しい影響です。しかし問題なのは、これまで野生動物を脅かしてきた大きな要因、「乱獲」「生息環境の破壊」「外来種」といった脅威に、この「気候変動」がさらに重なることは、野生生物の絶滅の危険性を、さらに増大させてしまっている点にある、ということです。実際、ただ一つの原因だけで生物が絶滅してしまうことは希です。上記の大きな要因が複合的に作用し、圧力を加えて加速させることが、大きな問題なのです。

気候変動のリスクにさらされている絶滅危機種の数

Red Listのランク	動物	植物	その他
CR(近絶滅種)	1,074	914	23
EN(絶滅危惧種)	1,817	1,302	49
VU(危急種)	1,448	977	91
総計	4,339	3,193	163

動物植物がそれぞれに気候変動の影響を受けている。

各分類群の絶滅危機種(総種)のうち温暖化の影響を受けている種の割合



対策

地球温暖化による生態系への影響を防ぐためには、温室効果ガスを減らすことが重要です。温室効果ガスを減らすためには、省エネ型のものに買い替えたり、暮金に寄付したり、消費を減らしたりすることが有効です。また、気候変動の影響を受ける生物を保護するためには、生息環境を保全することが重要です。生息環境を保全するためには、自然保護区を設けたり、外来種を排除したりすることが有効です。さらに、気候変動の影響を受ける生物を保護するためには、気候変動の影響を軽減することが重要です。気候変動の影響を軽減するためには、温室効果ガスを減らすことが重要です。温室効果ガスを減らすためには、省エネ型のものに買い替えたり、暮金に寄付したり、消費を減らしたりすることが有効です。また、気候変動の影響を受ける生物を保護するためには、生息環境を保全することが重要です。生息環境を保全するためには、自然保護区を設けたり、外来種を排除したりすることが有効です。さらに、気候変動の影響を受ける生物を保護するためには、気候変動の影響を軽減することが重要です。気候変動の影響を軽減するためには、温室効果ガスを減らすことが重要です。温室効果ガスを減らすためには、省エネ型のものに買い替えたり、暮金に寄付したり、消費を減らしたりすることが有効です。